

ワーク・ライフ・バランス通信

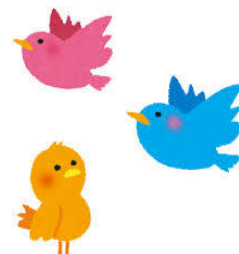
No.24

日勤の看護師全員が、かえるバッジを装着する取り組みを

開始してから2ヶ月が経過しました。

皆さん、実施していかがだったでしょうか？

この取り組みは4つの期待される成果をもとに実施されています。（下記参照）



期待される成果

1. 日勤者がかえるバッジをつけることで、日勤と夜勤の区別ができ、勤務終了時間後に残っている職員が明確となる。
2. 視覚的に時間外勤務をしている者が判断でき、定時で仕事を終わらせることの意識が高まり、タイムマネジメントに繋がる。
3. 他職種への視覚的アプローチにより、仕事の依頼の仕方や指示を出すタイミングの変化に繋がる。
4. 引継ぎ可能な業務は次の勤務者に引き継ぐという意識の変化に繋がる。

取り組み後の様子

- ・ かえるバッジのつけ忘れや、装着しても定時で帰るという意識が低い。
- ・ 勤務時間外での指示受けを次勤務者に依頼出来ない・次勤務者も引き受ける余裕がない。
- ・ 定時帰宅への意識向上や時間外の業務の依頼・引き継ぎに関して意識改革をしていく必要がある。



- ・ 日勤者同士でかえるバッジ装着の声かけ
- ・ 引継ぎ可能な業務は次勤務者に引き継ぐ、依頼された者は快く引き受けるという意識と雰囲気作り

かえるバッジは今後も活用し、「お互い様」意識で気兼ねなく帰れる職場風土をつくり、時間外勤務の削減を目指していきましょう！